

# 建築物理研究センター講演会（第146回）

講演者：大阪工業大学 工学部建築学科

講師 吉敷祥一氏

講演題目：“見える損傷”の定量化に基づく即時損傷評価法と鋼部材の被災後補修

## 講演概要

構造骨組が地震時に被った損傷の程度を素早く把握し、それに基づき残存耐震性能を評価すること、また損傷の程度に応じた効果的な補修の術を保有しておくことは、震災後における継続使用の判断、都市機能の早期回復を目指す上で重要である。本講演では、鋼部材の即時損傷評価法と被災後補修に関する研究の取り組みを紹介する。

日時：11月25日(火) 10時～

場所：大学会館集会室2

連絡先：山田 哲（5330）